

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
未払配当金の支払い、支払 明細発行のお問い合わせ先・ 郵便物送付先※1	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (通話料無料)
特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
特別口座に記録された株式に 関する各種手続きのお問い 合わせ先・郵便物送付先※2	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324 (通話料無料)
公告掲載方法	電子公告により行う。ただし、事故その他やむ を得ない事由によって電子公告による公告をす ることができない場合は、日本経済新聞に掲載 して行う。
公告掲載アドレス	http://www.pronexus.co.jp/koukoku/6724/6724.html

※1 住所氏名変更・配当金振込先指定(変更)等の事務手続きについては、お取引の証券会社等にお問
い合わせの上、所定の変更届等を提出してください。

※2 なお、特別口座にて管理されている単元未満株式(100株未満)の買取りの際には、買取請求書を
上記「みずほ信託銀行株式会社 証券代行部」にご請求の上、同行にて所定の手続きを行ってください。

ご案内

配当金に関する税制は、「復興財源確保法」(略称)の施行により、平成25年1月1日から
平成49年12月31日までの間にお受け取りいただく配当金につきましては、その所得
税額に2.1%を乗じた額が復興特別所得税として追加課税されます。また、平成25年
12月31日をもって軽減税率の適用終了が予定されております。

個人株主さまへの配当金に対する源泉徴収税率				
	平成24年12月31日まで	平成25年 1月 1日から 平成25年12月31日まで	平成26年 1月 1日から 平成49年12月31日まで	平成50年1月1日から
所得税	7%	7%	15% [※]	15%
復興特別所得税	—	0.147%	0.315%	—
住民税	3%	3%	5% [※]	5%
合計	10%	10.147%	20.315%	20%

※ 平成25年12月31日をもって軽減税率の適用終了が予定されております。

- 本ご案内は、上場株式等の配当等に係る復興特別所得税について、一般的な情報をご提供するため
に作成されたものであり、本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。詳細につきましては、
最寄の税務署、税理士等にお問い合わせください。
- 本ご案内は平成24年9月時点の情報をもとに作成しております。

70th
ANNIVERSARY

EPSON
EXCEED YOUR VISION

Contents

経営理念・連結財務ハイライト	p.1
ごあいさつ	p.2
当中間期の連結業績について	p.3

特集 [2012年 新製品のご紹介]

なくてはならない存在を目指して。

Colorio カラリオプリンター
多機能モデル
EP-805A/AW/AR



→ p.5

ジブンを測れ。

GPS 機能付きランニング機器

WristableGPS 新登場
(リスタブルGPS)



→ p.7

CSRトピックス：グリーン・タレント・プログラム p.8

連結決算の概要 p.9

会社情報／株式情報 p.10

株主メモ 裏表紙

セイコーエプソン株式会社

2013年3月期
中間株主通信

2012年4月1日～2012年9月30日

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5
Tel: 0266-52-3131 (代表)

<http://www.epson.jp>



経営理念

お客様を大切に、地球を友に、
個性を尊重し、総合力を発揮して
世界の人々に信頼され、社会とともに発展する
開かれた会社でありたい。
そして社員が自信を持ち、
常に創造し挑戦していることを誇りとしたい。

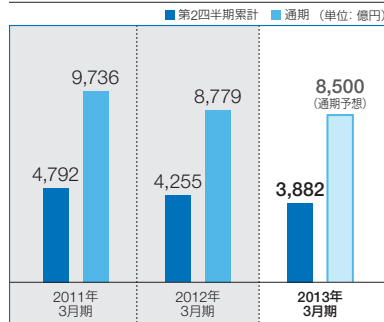
EXCEED YOUR VISION

私たちエプソン社員は、
常に自らの常識やビジョンを超えて挑戦し、
お客様に驚きや感動をもたらす
成果を生み出します。

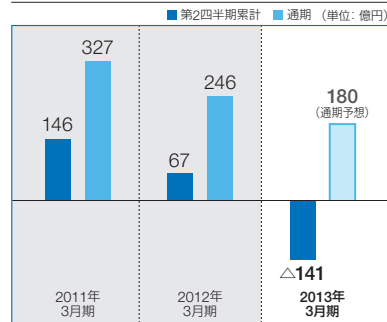


連結財務ハイライト

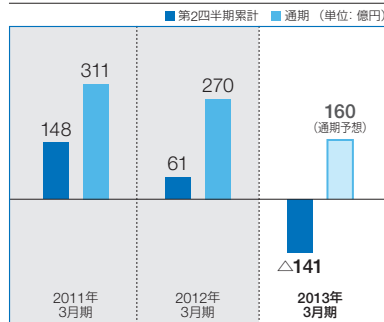
売上高



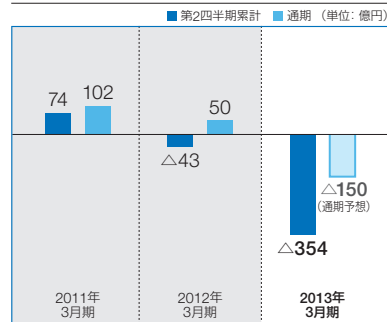
営業利益(△損失)



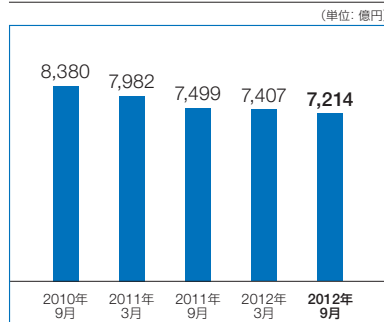
経常利益(△損失)



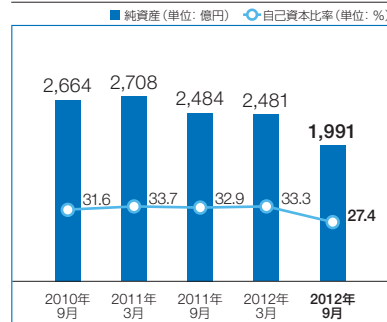
当期(四半期)純利益(△損失)



総資産



純資産/自己資本比率



(注) 1. 2013年3月期通期の売上高および各利益は、2012年10月31日公表の予想金額です。
2. 自己資本は、純資産から少数株主持分を差し引いて算出しています。

本文中、セイコーエプソン株式会社につきましては「当社」、エプソングループ(当社および当社の関係会社)につきましては「エプソン」と記載しています。

ごあいさつ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに2013年3月期中間株主通信をお届けいたしますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

当中間期(2012年4月～9月)の業績

当中間期の経済環境を顧みますと、世界景気は期前半において欧州財政不安などを背景に全体として弱い回復となりましたが、期後半以降、欧米を中心とする先進国の景気回復の動きが一段と鈍化するとともに、中国などの新興国市場でも経済成長に減速感が見られ、先行き不透明感が強まるなかで推移いたしました。

このような環境のもと、エプソンは、インクジェットプリンターや液晶プロジェクターの新製品投入効果などから、販売数量は前年同期に対して増加したものの、ユーロ安の影響や中国での徴税用途向けドットマトリクスプリンターの数量減少などにより、売上高および営業利益ともに前年同期を下回る水準となりました。また、当中間期において訴訟解決にともなう特別損失が発生したことなどにより、四半期純利益も損失を計上することになりました。

以上の結果、当中間期の業績につきましては、売上高3,882億円、営業損失141億円、四半期純損失354億円となりました。

これにより、株主のみなさまに多大なご心配とご迷惑をおかけしていることに対しまして、お詫び申し上げます。

なお、当中間期の業績などを踏まえ、通期連結業績予想および期末配当予想を以下のとおり修正いたしました。

2013年3月期通期連結業績予想および期末配当予想 (2012年10月31日公表)

売上高	営業利益	当期純利益	1株当たり期末配当
8,500億円	180億円	△150億円	未定

株主の皆様への利益還元

当中間期の配当につきましては、期初予想のとおり1株当たり13円とさせていただきます。

なお、期末配当につきましては、期初予想の1株当たり13円から未定に修正させていただきました。エプソンを取り巻く事業環境が厳しい見通しであることから、今後の業績や財務状況などを見極めた上で、あらためてご提案させていただく所存です。

中期経営計画の進捗と今後の取り組み

エプソンは、当年度から「SE15後期 中期経営計画」をスタートし、事業成長の道筋を確実なものとするための施策に取り組んでまいりました。

インクジェットプリンターでは、小型化モデルにより競争力を強化するとともに、オフィス向けや新興国市場向けモデルなどの戦略製品の販売が拡大し、液晶プロジェクターでも高輝度モデルなどが増加いたしました。加えて、リスト型GPS機能付きランニング機器などによる新領域への取り組みも進めており(後掲の「特集ページ」をご覧ください)、中期経営計画で掲げた基本戦略は着実に進展しております。

しかしながら、当中間期の業績および通期連結業績予想の修正を踏まえ、中期経営計画における戦略の有効性と業績目標の合理性について、検証および見直しを進めております。

これらの結果につきましては、第3四半期(10月～12月)の業績などを見極めた上で、できる限り早い時期に公表する予定です。

業績回復に向けた施策をより迅速かつ強力で展開してまいりますので、株主のみなさまにおかれましては、今後とも格別のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



2012年12月

代表取締役社長

碓井 稔

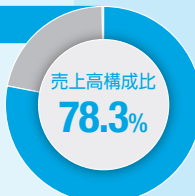
当中間期の連結業績について

売上高 **3,882** 億円 (前年同期比 8.8% 減) / 営業利益 **△141** 億円 (前年同期は 67 億円の営業利益)

事業セグメント別の概況

情報関連機器事業セグメント

売上高 **3,067** 億円 (前年同期比 4.3% 減)
セグメント利益 **34** 億円 (前年同期比 86.8% 減)



■ プリンター事業

インクジェットプリンター、ページプリンター、ドットマトリクスプリンター、大判インクジェットプリンターおよびそれらの消耗品、カラーイメージスキャナー、ミニプリンター、POSシステム関連製品など

■ ビジュアルプロダクツ事業

液晶プロジェクター、液晶プロジェクター用高温ポリシリコンTFT液晶パネル、ラベルプリンターなど

■ その他

PCなど

主な製品



カラリオプリンター
「EP-905F」



ビジネスインクジェットプリンター
カラー複合機「PX-675F」



インクジェット方式デジタルミニラボ機
SureLab「SL-D3000」



大判インクジェットプリンター
SureColor「SC-T7050」



ビジネスプロジェクター
「EB-1945W」

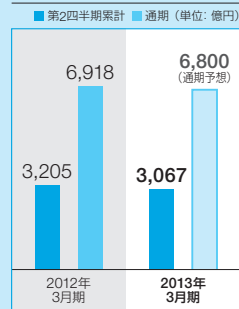


3D対応ホームプロジェクター
「EH-TW8100W」

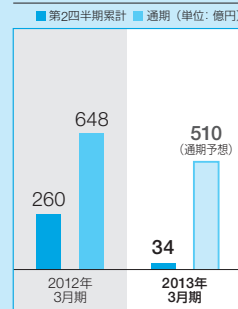


電子ビューファインダー向け
高温ポリシリコンTFTカラー液晶パネル
「ULTIMICRON」

売上高



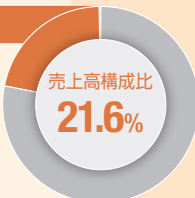
セグメント利益



- インクジェットプリンターは、大容量インクタンク付きモデルの販売が拡大したほか、欧米において震災影響によるプロモーション抑制の影響があった前年同期と比較して本体数量が増加した一方、消耗品は減少。
- 大判インクジェットプリンターは、欧米およびアジアにおいて低価格機種の本体数量が増加したほか、高価格帯の新製品発売効果による平均単価の上昇があったが、高価格帯の既存製品販売減少によりその効果は打ち消された。消耗品は、高価格帯の新製品発売効果による平均単価の上昇効果があったが、印刷業界の入稿量減少などによる販売減少や為替影響によりその効果は相殺された。
- ページプリンターは、企業の経費削減による影響などで販売減少。
- ドットマトリクスプリンターは、徴税関連需要が特に多かった前年同期と比べ中国において数量減少となったほか、その他のアジア地域でも数量減少。
- POSシステム関連製品は、米州や東南アジアで中小規模の小売店舗向けが好調に推移したため数量増加となったが、米州での販売単価下落や欧州での景気低迷にともなう顧客の投資抑制により売上減少。
- ビジネス向け液晶プロジェクターは、アジア地域・米州・日本でエンターテインメント向け製品を中心に数量増加が見られたほか、欧州の教育市場向けでも伸長したことにより全体でも数量増加。
- ホームシアター向け液晶プロジェクターは、欧州市場での大型スポーツイベントにともなう需要増加などにより数量増加となったほか、高価格帯品の販売好調による平均単価上昇効果あり。

デバイス精密機器事業セグメント

売上高 **844 億円**(前年同期比9.3%減)
セグメント利益 **55 億円**(前年同期比25.4%増)



■ デバイス事業

水晶デバイス事業(水晶振動子、水晶発振器、水晶センサーなど)

半導体事業(CMOS LSIなど)

■ 精密機器事業

ウオッチ事業(ウオッチ、ウオッチムーブメントなど)

光学事業(プラスチック眼鏡レンズなど)

FA 機器事業(水平多関節型ロボット、ICハンドラー、工業用インクジェット装置など)

主な製品



リアルタイムクロックモジュール
「RX-4035SA」

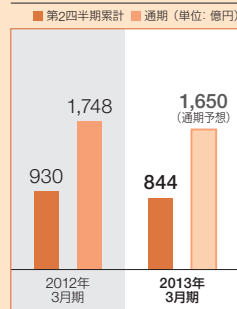


電子ペーパー端末用 SoC
「S1D13M01」

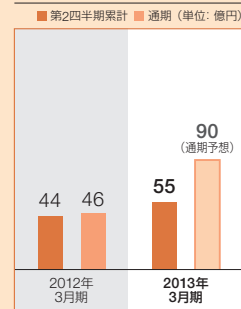


ICテストハンドラー
「NX1032XS」

売上高



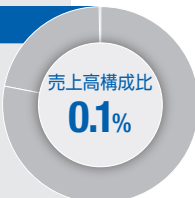
セグメント利益



- 水晶デバイス事業は、音叉型が数量減少に加え価格低下となったほか、ATで価格下落が大きく進行し減収。
- 半導体事業は、シリコンファンドリーで数量増加となった一方、LCDコントローラー・EPDコントローラーおよび車載向けLCDドライバーなどの数量減少が大きく影響し減収。
- ウオッチ事業は、高級品の売上増加などにもなう平均単価上昇により増収。
- 光学事業のプラスチック眼鏡レンズは、低価格モデルの増加による平均単価の下落影響があった一方、新製品発売効果による数量増加により増収。
- FA機器事業は、ロボットはアジアや米州からの受注増により販売増加となった一方、ICハンドラーはPCや従来型携帯電話向け半導体業界の需要が低迷した影響で販売減少。

その他

売上高 **5 億円**(前年同期比96.6%減)
セグメント利益 **△7 億円**(前年同期は6億円のセグメント損失)



■ グループ内サービス業など

3~4ページに掲載している

- 売上高構成比は、2012年4月~9月の内部売上高を含めて算出しています。
- 2013年3月期通期の売上高およびセグメント利益は、2012年10月31日公表の予想金額です。

家からだって、外にいるときだって。
写真も文書も自由にプリント。

Epson iPrint



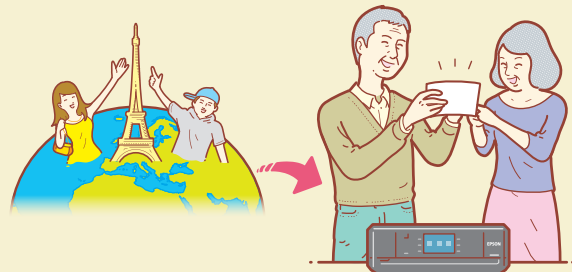
「Epson iPrint」は、スマートフォン、タブレット端末からカラリオを操作できる無料アプリです。スマートフォンで撮った写真を用紙やサイズを選択してダイレクトにプリント。さらに外出先からでもインターネット経由でプリントできます。



メールプリント



写真や文書をメールに添付してカラリオに送るだけでプリントできます。メールを送信可能な機器からなら、どこからでもプリント可能。ソフトやドライバーも必要ありません。海外旅行中のできごとを、リアルタイムで絵はがきのように伝えることができます。



いつでも、どこからでも、プリントできる。

なくてはならない存在を目指して。――

Colorio

カラリオプリンター 多機能モデル EP-805A/AW/AR

いつでも、どこからでも、お気に入りの写真など要望にお応えした、新しいライフス
エプソンは、お客様に感動していただける製品をお届けすることで、「なくてはならない存在」を目指してまいります。

メールdeリモート印刷



カラリオでスキャンした写真を、離れた場所のカラリオでプリントアウトできます。カラリオからカラリオへFAXのような使い方、通話料フリーで写真もキレイに送れます。

カンタン3ステップ!!



リモートプリントドライバー



PCのデータを通常のプリントと同じ操作で、離れた場所のカラリオにプリントアウトできます。



真をプリントしたい。新発売のカラリオは、
タイトルを実現してくれるプリンターです。

コンパクトになって、しかも使いやすい。



EP-805A EP-805AR EP-805AW

コンパクトでスタイリッシュ。 だから置き場所を選びません。

EP-805A/AW/ARのサイズは、前機種
のEP-804AWに機能同等の自動両面
印刷ユニットを装着したサイズと
比べて体積比38.7%コンパクト。リビング
ボードや本棚などのちょっとしたスペース
にもゆったり置けます。

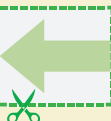


EP-805AWと前機種EP-804AW(2011年発売)
との体積の比較*

前機種EP-804AWに機能同等の自動両面
印刷ユニットを装着したサイズと比べて

体積比 **38.7%コンパクト!!**

今までより
約40%
コンパクト

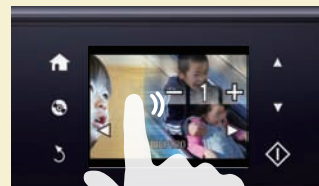


スマートフォン感覚で、カンタンに操作できる3.5 型の大型タッチパネル液晶

大きなタッチパネル液晶画面で、押し間違いが少なく操
作ができます。しかも、スマートフォンのように画面上で
指先を滑らせるフリック操作で、軽快に使いこなせます。



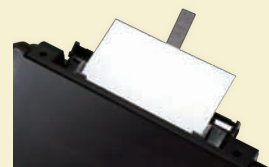
グラフィック化でわかりやすい
メニューアイコン



操作しやすい3.5型大型タッチパネル液晶

3Way 給紙でプリントがラクラク

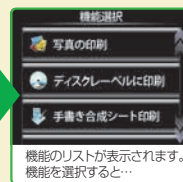
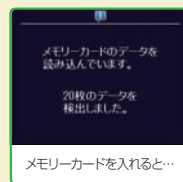
用紙補給がスムーズで、2種類の用紙を同時にセットで
きる前面2段給紙と、厚紙でもプリントできる背面1枚手
差し給紙で、用紙の多彩な使い分けが可能です。



前面2段給紙トレイ(左) 背面1枚手差し給紙(右)

操作に合わせ、先読みして画面を表示

メモリーカードを入れたときはメモリーカードを使う機
能のメニューが表示されるように、使う人の操作に合わせ
たメニューを表示。豊富な機能をスムーズに迷わず使いこ
なせます。



*EP-805AWの体積：18,751,590mm³
EP-804AWに自動両面印刷ユニットを装着した体積：30,571,500mm³

エプソンでは、SE15後期 中期経営計画において、プリンティング・プロジェクションなどの既存領域における拡大を目指すとともに、数多くの独創の技術を融合させることにより、新たな事業領域を創出することを目標に掲げています。

すでに、センシング・省電力・ウェアラブル(Wearable: 装着可能な、身につけることができる)の技術を活用し、健康・スポーツ・医療分野への展開も始まっています。ここでは、2012年夏、国内で販売を開始した、エプソンのスポーツ機器市場向けの第1弾となるGPS機能付きランニング機器「WristableGPS」をご紹介します。



ジブンを測れ。 WristableGPS

GPS機能付きランニング機器

新登場

マルチスポーツモデル
SS-700S



ジブンを測る

走る前に、目標ペースを設定。もしくは、「オートラップ」をオンにして自動計測したい距離を設定。GPS機能によりラップ・速度を計測し、表示することができるので、目標を確認しながら自分のペース配分を調整。無理のない計画的なランニングライフを提供します。

●ランニングウォッチとの違い

計測方法	GPS機能付きランニング機器	歩幅計測付きランニングウォッチ	ランニングウォッチ
計測方法	GPS衛星の現在位置情報から走行ペース(タイム/キロ)を計測	事前設定した歩幅から走行ペースを計測 走行距離=歩幅(ストライド)×歩数(ビッチ)	ストップウォッチの性能で走行ペース(タイム)を計測
距離計測	◎	○(歩幅×歩数から)	×
ペース計測	◎	○(歩幅×歩数から)	×
ラップ計測	◎(自動・手動)	○(歩幅×歩数や手動で)	○(手動のみ)
速度計測	◎	○(歩幅×歩数から)	×
移動軌跡	◎	×	×

ジブンを残す

走り終わった後は「WristableGPS」をパソコンにつないで専用アプリケーション「NeoRun」で日記感覚で記録管理。走ったコースや距離だけでなく、ペース分析や消費カロリー、コンディションや体調などのメモも記録でき、日々自分の走りをトータルで管理、確認することができます。



●NeoRun 画面サンプル



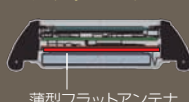
「省・小・精」の技術が結晶した、エプソンのGPS技術

低消費電力化を実現。GPS機能使用時でも最大14時間稼働



独自のGPSチップの開発により、低消費電力化を実現。バッテリーは最大14時間のスタミナを確保しました。

フラットアンテナの採用で薄型軽量を実現



薄型フラットアンテナ

エプソンの精密技術は、かさばりがちなGPSアンテナの薄型化を徹底的に追求。違和感のない快適な装着感を実現しました。

グリーン・タレント・プログラム

エプソンの経営理念には、「世界の人々に信頼され、社会とともに発展する開かれた会社でありたい」との言葉があります。この言葉のとおり、世界各地でそれぞれの地域社会に根ざした活動を通じて、社会との共生を進めています。

ここでは、台湾にある販売会社が実施している、大学生・大学院生を対象とした環境教育プログラム「グリーン・タレント・プログラム」をご紹介します。



東北エプソンでの体験型講座に参加したメンバー

「グリーン・タレント・プログラム」は、台湾にある販売会社 Epson Taiwan Technology & Trading Ltd. (以下ETT) が企画した、学生を対象とした教育プログラムです。このプログラムを通して、企業のCSR(企業の社会的責任)活動や環境保全活動を学び、学生たちが、台湾を持続可能な社会に形成していくためのリーダーとなることを期待しています。

活動は2011年にスタートし、2年目となる今年は、6月下旬に台北にあるETTのオフィスにおいて、「地球温暖化への企業の対応」をテーマに体験型講義が開催されました。ここでは、外部専門家による講義や、グループ討議などに加え、オフィスから出て、企業がどのようにして効率的な環境マネジメントを実現しているかなどを見学しました。

研修の最後には、企業持続発展協会(Taiwan Business Council for Sustainable Development)および、台湾経済局グリーン貿易室(Green Trade Project Office, Taiwan Ministry of Economic Affairs)が認証したテストが行われ、合格者には修了証が授与されました。

さらに、面接を経て選ばれた学生は、9月中旬に、山形県

酒田市にある東北エプソンで行われた体験型講座にも参加しました。東北エプソンは、エプソングループの国内主要生産拠点の一つで、インクジェットプリンターの部品や半導体の製造を行っています。

東北エプソンでの講座では、環境に配慮した製造方法や、東日本大震災後の復興過程に関する講義を受けた後、工場エリアの節電設備を見学しました。また、敷地内にある、障がい者雇用を目的とする特例子会社(有)エプソンスワンでは、従業員とともに、クリーニング前の作業手袋の整理や、作業場の清掃を行い、昼食は社員食堂で従業員と同じランチメニューを楽しむなど、さまざまな体験をしました。



ETTでの体験型講座では、ゴミの分別作業も体験



工場エリアでの節電設備の見学

エプソンは、このプログラムに参加した学生たちが、プログラムで学んだことを将来の職業において実行できるようになること、そして、環境活動を推進していくうえで強い影響力を持つ人材になることを望んでいます。

連結決算の概要

四半期連結貸借対照表の要旨

(単位: 億円)

	2013年3月期 第2四半期連結会計期間末 (2012年9月30日現在)	2012年3月期 連結会計年度末 (2012年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	4,688	4,871
固定資産	2,526	2,535
有形固定資産	2,153	2,130
無形固定資産	141	150
投資その他の資産	231	254
資産合計	7,214	7,407
負債の部		
流動負債	3,163	3,133
固定負債	2,059	1,793
負債合計	5,223	4,926
純資産の部		
株主資本	2,733	3,111
資本金	532	532
資本剰余金	843	843
利益剰余金	1,562	1,940
自己株式	△204	△204
その他の包括利益累計額	△757	△646
少数株主持分	15	16
純資産合計	1,991	2,481
負債純資産合計	7,214	7,407

(注) 1. 金額については、記載単位未満を切り捨てています。
2. △はマイナスを示しています。

四半期連結損益計算書の要旨

(単位: 億円)

	2013年3月期 第2四半期連結累計期間 2012年4月1日から 2012年9月30日まで	2012年3月期 第2四半期連結累計期間 2011年4月1日から 2011年9月30日まで
売上高	3,882	4,255
売上総利益	873	1,137
営業利益または営業損失 (△)	△141	67
営業外収益	23	36
営業外費用	24	42
経常利益または経常損失 (△)	△141	61
特別利益	17	10
特別損失	171	71
税金等調整前四半期純利益 または税金等調整前四半期純損失 (△)	△296	0
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△353	△43
四半期純損失 (△)	△354	△43

(注) 1. 金額については、記載単位未満を切り捨てています。
2. △はマイナスを示しています。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位: 億円)

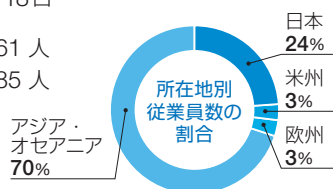
	2013年3月期 第2四半期連結累計期間 2012年4月1日から 2012年9月30日まで	2012年3月期 第2四半期連結累計期間 2011年4月1日から 2011年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△324	59
投資活動によるキャッシュ・フロー	△280	△210
財務活動によるキャッシュ・フロー	388	△54
現金及び現金同等物に係る換算差額	△47	△62
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△264	△267
現金及び現金同等物の期首残高	1,500	2,117
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,236	1,849

(注) 1. 金額については、記載単位未満を切り捨てています。
2. △はマイナスを示しています。

会社情報 / 株式情報 (2012年9月30日現在)

会社概要

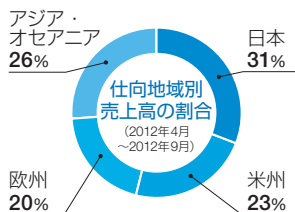
本社	〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号 TEL: 0266-52-3131(代表)
本店	〒163-0811 東京都新宿区西新宿二丁目4番1号新宿NSビル TEL: 03-3348-8531(代表)
資本金	532億4百万円
創立	1942年5月18日
従業員数	連結: 81,461人 単体: 12,785人



グループ会社 97社(当社を含む)

国内関係会社

エプソン販売株式会社
エプソンダイレクト株式会社
エプソントヨコム株式会社
東北エプソン株式会社
秋田エプソン株式会社
他 16社



海外関係会社

U.S.Epson, Inc. (地域統括)
Epson Europe B.V. (地域統括)
Epson (China) Co., Ltd. (地域統括)
Epson Singapore Pte. Ltd. (地域販売統括)
Epson America, Inc. (販売)
Epson France S.A. (販売)
Epson Precision (Hong Kong) Ltd. (製造)
Singapore Epson Industrial Pte. Ltd. (製造)
P.T. Indonesia Epson Industry (製造)
Epson Precision (Philippines), Inc. (製造)
他 65社

役員

取締役ならびに監査役		業務執行役員	
取締役社長 (代表取締役)	碓井 稔	業務執行役員常務	小松 宏 John Lang 上柳 雅誉
取締役副社長 (代表取締役)	両角 正幸	業務執行役員	酒井 明彦 森 昭雄 小池 清文 宮川 隆平 遠藤 鋼一 田場 博己 奥村 資紀 小口 貴 北松 康和 島田 英輝
専務取締役 (代表取締役)	久保田 健二		
常務取締役	平野 精一 羽片 忠明 濱 典幸		
取締役	福島 米春 久保田 孝一 井上 茂樹 青木 利晴 ^{*1}		
常勤監査役	小口 徹 矢島 虎雄		
監査役	山本 恵朗 ^{*2} 石川 達紘 ^{*2} 宮原 賢次 ^{*2}		

^{*1} 社外取締役
^{*2} 社外監査役

株式の状況

発行可能株式総数	607,458,368 株
発行済株式総数	199,817,389 株
株主の総数	43,656 人

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三光起業株式会社	14,288	7.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	9,545	5.33
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,449	5.28
セイコーホールディングス株式会社	7,948	4.44
セイコーエプソン従業員持株会	6,582	3.67

(注) 1. 当社は自己株式20,924千株を所有していますが、上記の大株主から除外しています。
2. 持株数は、千株未満を切り捨てています。
3. 持株比率は、自己株式を控除して計算し、小数点以下第3位を切り捨てています。